

連載

# 働く女性 たちからの メッセージ

いきいき  
仕事も生活も

会員企業で活躍されている女性社員の方々のキャリア、  
働く上で心がけていること、仕事と生活の両立の知恵などを  
企業の女性活躍推進のヒントが見つかるかも知れません。

村上 小夜子さん  
株式会社中国銀行  
総社東支店 支店長

岡山県



## ●一人ひとりの力を生かす

入社以来三十年、私は常に前向きに仕事に取り組んできました。それは、私だけではありません。もともとコツコツ頑張る女性の多い職場だったのです。

更に最近では、産後も働くことが当たり前になってきて、能力のある人が長期間働くことの出来る環境が出来てきました。加えて新入社員は皆大きな夢を抱いて入社してきます。今は育てる意識があれば、すばらしい花を咲かせることができる時なのです。

立場や仕事で人は成長します。新しい仕事を任せてみるのが大切です。私にそういうチャンスが与えられた様に、是非、女性をどんどん登用していただきたい。そうすることで、その人の知識や能力を活かせる役割が与えられることで、人は意欲的に取組めるでしょう。

だからこそ、私は、働く元気の源である家庭を大切にすると共に、社員もパートタイマーも皆、一人ひとりが自分の力を発揮できる、楽しく活気のある職場づくりができればと考えています。

1982年4月入社  
本部・営業店での各業務を経て、二児の子育てをしながらマネージャーを務める。  
2011年6月より現職



佐々木 ひで子さん  
株式会社東京ドレス  
総務部 部長

青森県



## ●先輩たちの知恵を一人でも多くの後輩たちへ

弊社は女性107名を含む138名が働く婦人服製造工場です。

八戸駅から西南に歩いて7分、南に馬淵川、北に東北本線が位置し水田に囲まれた敷地6931㎡の中に在ります。その穏やかな環境の中で、工場内は熱い戦いが繰り広げられています。高品質、納期順守、かつ、安全安心を目指しているからです。入社当初は検品作業を担当し足が棒になるようでした。そして事務部門へ異動。第一種衛生管理者を受験するため勉強し、その結果、合格通知に感動したのは33歳でした。その後、東京ドレス職業訓練校夜間2年を卒業し、一年後に洋裁士2級を取得できました。あれから20年、現在は海外工場からの技能実習生に関わる技能実習指導員、生活指導員補佐など、重責ながら愉しく仕事を続けていますが、これも先人、先輩の優しい導きがあったからと改めて感謝しております。これからはこの恩を忘れず社員と働く女性たちが愉しく仕事と生活を保てるよう応援を続けたいと思っています。

1984年30歳で途中入社。  
総務部門を得て、2008年から現職。  
1男3女の母



三好 紀美さん  
トヨタ自動車株式会社  
人材開発部 キャリアライフデザイン室  
ダイバーシティグループ 主任

愛知県



## ●時間がないからこそ「よく考える」努力を

入社後6年間は、製造部門の人事・人材育成業務に携わりました。先輩や上司から様々な課題を与えられ日々鍛えてもらいました。とにかく現地現物で、製造現場へ行くように指導されましたが、当時の現場は男性が多く、女性という目新しさで、すぐに名前を覚えてもらいました。人間関係を構築し、実務担当として様々なことを勉強するのが毎日楽しく、とても充実していました。この経験のお陰で安心して育児休職に入れたのだと思います。2010年に育児休職から復職し、女性の活躍推進に関する施策等を企画・実施しています。母となり、育児・家事と仕事を両立する上での課題は、効率よく、満足できる仕事をすることです。急がば回れというように、「よく考えることが近道」と意識し、努力する日々です。

2001年入社。  
人事部にて技能系人事・教育等を担当し、2008年に現部署へ異動。同年に出生、約1年半の育児休職を取得。  
2011年より現職。



**神木 知子**さん  
旭硝子株式会社  
人事・総務室人事グループ

東京都



### ●多様な社員にとって働きやすい会社・職場の実現を目指して

キャリア採用で入社し、早3年を迎えます。入社以来一貫してグループ人事施策のグループ表彰を主に担当してきました。国内では馴染みのある表彰制度を、グループグローバルに展開した運用を通じ、海外での考え方も学びながら業務を進めてきました。制度として一貫性を保ちつつ、各地域で受け入れられる運用とするところが、難しくもあり、面白い部分と感じます。

2011年より新たに女性活躍促進プロジェクトのメンバーとして加わり、施策の企画・運用に携わっています。個人的にも身近なテーマであり、女性の先輩方や若手社員の話聞く機会も多いことから、非常に刺激を受け、やりがいを感じます。私自身は、結婚を機に仕事とプライベートの両立の重要性を再認識し、オン・オフの切り替えを心掛けています。会社の風土改革にもつながる施策は、一朝一夕で成し遂げられるものではありませんが、あるべき姿の実現を信じて取り組んでいきます。



2008年12月入社(中途入社)。  
海外関係会社を含めたグループ全体の人事施策を企画する部署に配属となり、AGCグループCEO表彰を担当。2011年より女性活躍促進プロジェクトのメンバーとして女性活躍促進施策の企画にも携わる。

**松浦 恵子**さん  
大分大学  
女性研究者サポート室 室長

大分県



### ●大学で女性研究者が輝くために

大分大学は、2010年7月に大分大学女性研究者サポート室「FAB」(Female Academics at Bunrei)を設置し、女性研究者が研究と出産・育児等の両立や、その能力を十分発揮しつつ研究活動を行える仕組みをつくることになりました。私は、この女性研究者サポート室の初代室長として、次の4つの柱を掲げ具体的な取り組みを推進しています。

1. キャリアサポート…奨励賞の授与や学会派遣支援、研究サポーター制度の整備などにより、女性研究者の積極的雇用や昇進を働きかけます。
  2. 環境サポート…育児相談、病児保育の実現をめざします。
  3. 情報サポート…ホームページの作成や広報誌の発行などを行ないます。
  4. 地域サポート…地域との連携をはかります。
- 私自身、大分大学医学部・分子病理学教室で、研究者として癌の遺伝子異常の解析もしています。研究者にとってどんな研究環境の整備が必要か、研究のレベルアップにつなげていくにはどうしたらよいか、男性研究者を含めた大学全体の活性化にもつながることをどう伝えていくか模索しながら、多くのひとに支えられての毎日です。



1996年大分医科大学 医学部勤務  
現在大分大学 医学部分子病理学准教授。  
2010年7月より女性研究者サポート室「FAB」室長および学長特別補佐(現在 学長補佐)兼任。